

事業名 八王子 NPO パワーアップ事業

評価項目

No	項目	記入欄 内容が分かるように、 <u>200 字以上～300 字以内</u> で簡潔にまとめて記載してください。	自己採点
1	成果目標	<p>①NPO八王子会議が定着する。 参加団体数 50団体 参加者数 100名 →結果 参加団体 65団体 参加人数 130名</p> <p>②講座参加数； 15 団体 25 名（個人参加含む） 結果→参加団体 15 団体 平均参加人数 23 人 受講団体の 2 団体程度は助成金を獲得する 結果→助成金獲得確定 5 団体 申請中 3 団体</p> <p>③NPO会議と実践講座によるネットワーク構築。 結果→講座OBでMLで情報交換実施中 登録27名 団体情報交換会1回実施（1月17日） 会計フォローアップ講座実施（3月26日、28日）</p> <p>④アンケート結果で良かったと評価した人が70%以上となる。 結果→講座達成 会議はアンケート回収少なく評価困難、但し交流会には70名参加し盛況。 八王子地域 NPO 活性化の基盤が出来た。 詳細は、報告書 P7, 8 参照</p>	4
2	市民性	<p>第 3 回 NPO 八王子会議；参加団体 65 団体 参加人数 130 名と計画の100 名を上回った。</p> <p>団体向け連続講座参加数；参加団体 15 団体 平均参加人数 23 人 IT の基本講座；14 名（1 名は当日キャンセル）ほぼ計画通りであった。</p> <p>特別講演会；計画 100 名に対し、参加 50 名、資料のみ購入 2 名と大幅に計画を下回った。約 200 団体に電話勧誘を行ったが達成できなかった。→テーマが「新寄付税制のメリットとその特徴」とあまり一般的でなかったことと、テーマ数の多い NPO 八王子会議と同数の計画したこと自体が甘かった。</p>	3
3	波及効果	<p>1) 意識の向上を図る「NPO 八王子会議」と団体の実務能力アップを図る「NPO パワーアップ講座」をリンクし相乗効果を狙った。</p> <p>2) 地元で地元の団体対象の長期講座で親密なネットワークづくりを狙っている。</p> <p>3) 講座の知識を何とか自団体に活かしてもらいたいと工夫していること</p> <p>①2 名/団体受講を基本とする。 孤立化による挫折を防ぐ狙いであったが、人数の融通がつかず、1</p>	4

新しい公共の場づくりのためのモデル事業 自己評価シート

		<p>名参加の団体も5~6団体あった。</p> <p>②フォローアップ体制 パソコン講座と会計講座では、講座終了後個別相談制度を設けたが、利用数が少なく、会計はフォローアップ講座に切替えて実施した。</p> <p>③H25年度は本講座と本講座の間に自主検討日(フォローアップ日)を設置 詳細は、報告書 P12 参照</p>	
4	継続性	<p>資金面； 八王子市市民企画事業補助金に応募し、最高額100万円を獲得した。事務局費を50%削減し講師料も30%削減した金額で講師をお願いしている。</p> <p>講座内容面；H25年度における改善 ①受講対象として市民活動団体にmax10名手程度の個人を加える。長期に講習を共にすることによる、団体と個人のマッチングをも狙う。</p> <p>②助成金申請講座は好評であったが、積極的な事業展開をし、多彩な資金調達を実行しているNPO法人の実例にふれる講座に変更。</p> <p>③本講座と本講座の間にフォロー日を設け、知識を自団体に活かす仕組みを作った。 詳細は、報告書 P11, 12 参照</p>	3
5	マルチステークホルダー・プロセス	<p>行政； 講座内容・企画に行政の観点からアドバイスをいただくと共に、広報面では市広報紙への掲載及びパンフレット類の市民センター等への掲示・配布に協力していただいた。また都への提出書類作成にあたり貴重なアドバイスをいただき、チェックもお願いした。</p> <p>市民活動団体； 企画立案、講座運営において協力していただくと共に、助成金活用経験豊富な団体からは助成金申請業務へのアドバイスをいただいた。専門家集団からは講師を派遣していただいた。生涯学習コーディネーターを務める団体にはその特質を活かし、講座企画・運営にアドバイスをいただいている 詳細は、報告書 P2, 3 参照</p>	4

合計点

18

ランク

A